

- ① 死亡、不具、廃疾等により返還能力を失ったときは、申請により返還を免除される。
- ② 大学の学生であった者が、小・中・高校等の教育職に一定年限従事した場合、一部又は全額免除される。
- ③ 大学院の学生であった者が、大学や特定の試験所、研究所、文教施設で教育又は、研究の職に一定年限従事した場合、上記②様免除される。

(4) 奨学生の補導

本会の事業が国費で営まれており、奨学生の成績には社

会の期待がかかっていることを全員に自覚させるため、本会と奨学生の関係を単に経済的なものにとどめず、精神的なつながりを持たせ、充実した生活を送るよう種々の方法によって補導している。これらの方法として「面接・相談座談会」「学業成績・健康・生活状況の調査」「成績不振者督励」などを行い、機関紙「育英」を発行している。

また、奨学生の外部組織として、卒業した奨学生によって結成された「育英友の会」の全国的な組織があり、各支部とともに活動している。

表1 日本育英会奨学生種別表

区分	学校別	採用別	応募学年	貸与月額	募集時期	備考
一般貸与奨学生	高等学校	通常	在学学生	3,000～※4,000	4月と9月	(1)は1～3学年 (2)は4～5学年 (3)は自宅外通学者 (4)通信教育はスクーリングを受けた者 ※は私立に適用
	高等専門学校	〃	〃	{(1) 3,500～※5,000 (2) 6,000～※8,000	4月と9月	
	大学	〃	〃	6,000～※11,000	4～5月と10～11月	
	〃(通信教育)	〃	〃	(4) 46,000	適時	
	養護教諭養成所	〃	〃	6,000	4～5月	
	大学院(修士課程)	〃	〃	32,000	4月 (予約制度あり)	
	〃(博士課程)	〃	〃	42,000		
芸術専攻科	〃	〃	32,000			
特別貸与奨学生	高等学校	通常	在学学生	4,000～※6,000	4月	
	〃	予約	中学校第3学年	4,000～※6,000	4月	
	高等専門学校	〃	〃	{(1) 4,500～※7,000 (3) 6,000～※9,000	4月	
	〃	〃	〃	{(2) 8,000～※12,000 (3) 12,000～※16,000		
	大学	〃	高等学校最高学年	{ 8,000～※15,000 (3) 12,000～※23,000	4月	
〃(教育)	〃	〃	{ 8,000～※15,000 (3) 12,000～※15,000	4月		

- (注) 1 募集は各学校を通じて行う。
 2 高等学校と特別貸与奨学生(予約)の採用は支部で行う。
 3 高専校、大学及び他の奨学生については在学中の各学校で行う。

表2 日本育英会による県内高等学校奨学生数及び採用状況

(51.3.1現在)

年度	種別	継続貸与	新規採用						追加採用	採用数合計	奨学生総数
			予約採用		1次採用		2次採用				
			出願	採用	出願	採用	出願	採用			
49	一般貸与奨学生	人 349	人 —	人 —	人 141	人 141	人 35	人 14	人 3	人 158	人 507
	特別貸与奨学生	919	399	366	107	107	25	17	3	493	1,412
	計	1,268	399	366	248	248	60	31	6	651	1,919
50	一般貸与奨学生	263	—	—	100	110	28	28	—	138	401
	特別貸与奨学生	943	374	347	118	118	23	23	—	488	1,431
	計	1,206	347	347	228	228	51	51	—	626	1,832